



プレスリリース  
2020年5月

**カール・ハンセン&サン社 2019 年度業績レポート：  
10 年連続で記録を更新。グローバルに成長を続ける。**



グローバルに業績を伸ばし続けるデンマーク企業、カール・ハンセン&サン社およびカール・ハンセン&サン・ホールディング社  
CEO クヌッド・エリック・ハンセン

**カール・ハンセン&サンの母体であるカール・ハンセン&サン・ホールディング社は、2019 年度の決算報告諸を発表。デンマークを代表する家具メーカーとして、業績を 10 年連続で伸ばしました。フラッグシップ・ストアの業績を追い風に世界各地のマーケットで業績を伸ばし、売上は過去最高の 113 億円、営業利益は前年比より増加。**

この 10 年間で売上を 5 倍にしたカール・ハンセン&サン社。2019 年の総売上額は、前年比 7%増の 113 億円、営業利益は約 6.2 億円。創業 112 年の歴史で最も好調な年となりました。

「2019 年は、カール・ハンセン&サンにとって実り多い年だったと言えます。売上げを 10 年連続で伸ばすことができたばかりでなく、これまでになく高い利益を計上することができました。これは、世界各国で高まるデンマーク名作家具への需要とクラフトマンシップへの関心にあることはもちろんですが、弊社の合理化が実を結んだ結果であると考えます。



市場における競争が激化する中、好調な業績を残せたことをとてもうれしく思っています。」と、カール・ハンセン＆サン社およびカール・ハンセン＆サンホールディング社 CEO クヌッド・エリック・ハンセンは語ります。

創業以来、110 年以上に渡り、デンマーク家具の伝統を基盤にした製品を創り出してきたカール・ハンセン＆サン社。その顧客は世界各国に広がっています。同社が製作するハンス J. ウェグナーやボーエ・モーエンセンなどによるデニッシュモダンの名作は全世界的に高い関心を集め、特に、すでに確立されている日本市場を除くアジア市場では、前年比 +62%の伸びを見せています。デンマーク市場も前年比 12%増。日本、イタリア、ドイツ、そしてノルウェーといったカール・ハンセン＆サン社の主要市場も二桁成長の堅実な伸びを見せています。

「ここ数年、需要は増え続けています。うち 75%あまりは海外市場からで、特にアジア市場の躍進が顕著でしたが、日本市場でも +16%の伸び率です。また、デンマークに隣接するドイツ市場でも、一気に需要が伸び、前年比 +68%という驚異的な伸びを見せています。また、国外ばかりでなく、デンマーク国内市場も安定した躍進を見せており、高まる需要により 2019 年度の従業員の増員にもつながりました。」と前述のクヌッド・エリック・ハンセン。

### 躍進するフラッグシップ・ストア

2019 年、カール・ハンセン＆サン社の業績に大きく貢献したのが、同社直営店であるフラッグシップ・ストア。フラッグシップ・ストアを展開する市場ではいずれも売上げを伸ばしており、その売上はカール・ハンセン＆サン社全総売上の 10%に占める勢いで成長しています。

「弊社のフラッグシップ・ストアも大きく注目されています。家具の歴史、デザイン、素材、生産工程などブランドから直接製品情報を得られることがお客様に喜ばれていると言えると思います。2018 年度に開業したフラッグシップ・ストアのロンドン、サンフランシスコ、ストックホルム、そして大阪は、いずれの店舗でも 2019 年には高い伸びを見せています。また、フラッグシップ・ストアの展開は、弊社製品を取扱うディーラーにも好影響ももたらしているようです。」と、クヌッド・エリック・ハンセン。

クヌッド・エリック・ハンセンによると、カール・ハンセン＆サン社は、2020 年、パリをはじめ今後もフラッグシップ・ストアを増やしていく予定です。

### 2019 年度の業務展開：高まる名作家具の需要

ハンス J. ウェグナーの代表作、CH24 / Y チェアは 2019 年もやはり主力製品でした。

但し、売上げを伸ばしたのは Y チェアだけではありません。2019 年に発表したボーエ・モーエンセンの BM1106 ハンツマンチェアと BM0949 コントゥールチェアが世界各国の市場で堅実に需要を伸ばしたほか、オーストリアのデザインスタジオ EOOS と協働で開発したエンブレイスシリーズも同様に順調な伸びを見せました。新作含め、名作コレクションの多くが各市場で売上げを伸ばしています。

カール・ハンセン＆サン社の製品に共通するのは、その技術に裏打ちされた高い品質とタイムレスなデザイン。クヌッド・エリック・ハンセンは高まる需要の要因について以下のように続けます。

「ここ数年の傾向として、国を問わず人々が、世代を超えて使用できるサステナビリティを考慮したデザインや製品に関心を寄せていることに私たちは注目しています。使い捨ての時代が終焉を向かえつつある今日、サステナビリティへの関



心はこれからさらに高まっていくと考えています。デニッシュデザイン、伝統技術、使用する素材へのこだわりなど、弊社の基盤となる考え方がこうしたトレンドと合致していることが需要を高めているのではないのでしょうか。」

### 予期せぬパンデミックの影響

2020年最初の四半期に記録的に業績を伸ばし、好スタートをきったカール・ハンセン＆サン社。しかしここに来て、カール・ハンセン＆サン社をはじめ世界各国の大多数の企業が、新型コロナウイルスによる危機に直面しています。未だ先の見えない状況ですが、この危機の影響ついて、クヌッド・エリック・ハンセンは比較的明るい展望を持っています。

「弊社は幸運なことに、この厳しい時期をうまく乗り切っていると思います。長年に渡る合理化と営業投資がもたらした2020年度の第一四半期の好業績、そして昨年2019年度に築いた基盤が弊社を支えています。もちろん弊社もこの危機の影響を完全には免れることはできません。長く続けばなおさらですが、危機は乗り越えられると私は確信しています。」

### 将来への展望

カール・ハンセン＆サン社が掲げる当面の売上げ目標は、約170億円。カール・ハンセン＆サン社はすべての市場でのさらなる業績拡充を目指しています。クヌッド・エリック・ハンセンは、将来について、こう語ります。

「2020年、国内の市場はもちろん、海外市場でもその業績拡大に期待を寄せています。コロナ危機にさらされていますが、引き続き多くの受注を受けて生産を続けることができている。できるだけ明るい展望を持ち続けたいと思っています。年度初めに垣間見た今までにない需要の高まり、そして長期的に見ても問題のない弊社の経営状況。こうしたことを考慮すると2020年もデニッシュデザインの需要は高まり、業績を伸ばすことができると思っています。」

### FACT BOX

2019年発売の新製品について：

例年デニッシュモダンの名作をはじめ新進デザイナーとの協働で新作を世に送り出し続けるカール・ハンセン＆サン社。2019年には、ポーエ・モーエンセンの個性あふれるデッキチェアシリーズ、コントロールチェア、ハンティングテーブル、ハンツマンチェア、さらにハンス J. ウェグナーの CH30 ダイニングチェア、フリッツ・ヘニングセンのクープソファを発売しています。またオーストリアのデザイナースタジオ EOOS によるエンブレイスシリーズにも新たなモデルをラインアップ。ストックホルム・ファニチャー・フェアでも大きな注目を集め、英国や米国でも大きな関心を集め続けています。カール・ハンセン＆サン社では、これからもデニッシュモダンの黄金期のデザインを復刻していくと共に現在第一線で活躍するデザイナーの家具も発表していくとしています。

CH24 / Yチェア：

1949年、ハンス J. ウェグナーがカール・ハンセン＆サン用にデザインした椅子の一つ。1950年に発表されて以来、途切れることなく生産が続いています。軽快で彫刻的なフォルムが印象的なYチェア。ダイニングチェアとしてはもちろん、くつろぐための椅子としても最適です。曲木技術を駆使したゆったりとしたアーム。様々な座り方を可能にし、より高い心地よさを実現しています。製作技巧の面からもYチェアはマスターピースと呼ぶにふさわしい逸品。100を超える伝統的な職人による工程を経て製作されています。座面には120メートルのペーパーコードを使用。一部は高度な機械化



に成功し、製造効率を上げながらも手作業でしかできない製造工程は引き続き保つことで、高い耐久性を持つ長く愛される家具を作り出しています。

---

詳細は下記までご連絡ください。

カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社  
PR・マーケティング&コミュニケーション マネージャー  
中西 孝子  
TEL : 03-5413-6771  
Email: [nakanishi@carlhansen.jp](mailto:nakanishi@carlhansen.jp)

FLOAT, Inc  
PRサポート / 石野田輝旭  
携帯電話 : 090-8477-7153  
Email: [ishinoda@float.jp](mailto:ishinoda@float.jp)